

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年11月19日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 10 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	換気空調系主冷水ポンプ(B)点検前の確認時、センタリング値に許容値外れ(軸受部不良)が認められたため、当該軸受部を点検補修。	G	
2	1号機	第21回定期検査における復水ろ過装置定検工事において、弁駆動部点検数量減に伴う、支払い金額変更に失念(過払い)が認められたため、対応検討。	G	
3	4号機	主発電機の軸受点検時、部品(軸受リング押さえボルトのワッシャー及び絶縁筒)に劣化が認められたため、当該部品を交換。	G	
4	4号機	所内電源設備480Vパワーセンタ(4D-1)点検時、盤内の制御ケーブルに不良(6本断線、1本素線切れ)が認められたため、当該不良箇所を修理。	G	
5	4号機	主タービンバイパス弁グランドシール蒸気出口逆止弁点検時、弁座シート面に浸食が認められたため、当該箇所を補修。	G	
6	4号機	使用済燃料プールのゲート点検時、パッキン押え板に変形が認められたため、当該押え板を交換(次回定検時)。	G	
7	4号機	主復水器連続洗浄装置ボール循環ポンプ(A,B,C)出口圧力計の計器元弁点検時、弁体に腐食が認められたため、当該元弁を交換。	G	
8	4号機	炉心性能計算機において、中性子計装系局部出力領域モニタの取替計画に使用している較正電流値に誤り(17サイクル起動時の誤入力:2本)が認められたため、当該較正電流を修正。	G	
9	4号機	所内電源設備用積算電力量計点検時、試験電圧の誤入力(定格電圧110Vのところ200V入力)により故障(2台)させたため、対応検討。	G	
10	その他	エンジニアリングサーバー周辺機器のパトロール時、無停電電源装置の内蔵バッテリー異常ランプ点灯が認められたため、当該バッテリーを交換。	G	